



ライオンズ**ALERT**プログラム  
緊急事態と災害への支援



# 災害は起きます。



Jesús Jaime

## 災害が起きると、 人々は助けが必要となります。

何十年もの間、ライオンズは  
災害に遭った人たちに人道的支援をしてきました。

ライオンズは特に、危機が起きたときに  
地域社会に奉仕しています。

ライオンズクラブの **ALERT**  
プログラムの使命は次の通りです。

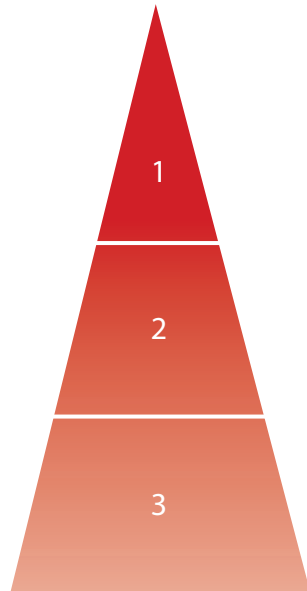
ライオンズに標準化された構造およびネットワークをもたらし、  
緊急事態にある人々に、必要なサービスを提供すること。

緊急事態は一つの家族に影響を与えることもあります。町や都市あるいは国全体に影響を与えるものもあります。緊急事態の深刻度により、対応のレベルが決まります。ライオンズは、重要なリソースあるいは「追加救援隊」の役割を果たし、危機あるいは緊急事態や災害の後で生じるニーズに対して、助けとすることができます。

**レベル 1 緊急事態**は少数の人に対してのみ影響を与えるものです。地元で起きた緊急事態として、地元での対応が必要です。家の火事や局所的な洪水などがレベル 1 緊急事態の一例です。ライオンズクラブ一箇所でも、影響を受けた人々に助けをのべたり、飲み水、食べ物、宿や衣服など必需品を提供することができます。

**レベル 2 緊急事態**はより大きい地理的領域に影響を及ぼします。竜巻、台風または地すべりなどがレベル 2 緊急事態の一例です。レベル 2 緊急事態では、地区として組織的な対応が必要な場合があります。このレベルでは、政府やその他の救援機関も初期救援努力に関わる場合があります。地区はライオンズクラブ国際財団 (LCIF) 緊急援助金を要求できる可能性があります。

**レベル 3 緊急事態**は何百あるいは何千の人々に影響を与えます。一つの複合地区あるいは複数の複合地区が共同で、津波あるいは地震などの大災害の被害者のために、救援を提供することができます。赤十字や赤新月社などの政府やその他の救済組織が災害への初期救援を提供し、ライオンズはこれらの組織およびその他の救援組織と共に、レベル 3 の被害者に人道的支援を提供します。



## ライオンズ ALERT (警告)委員会を組織する

---

地区および複合地区で、ライオンズ **ALERT** 委員会を組織し、それぞれの地域における緊急事態に応じます。地区ガバナーまたは協議会議長がチームメンバーを選ぶことができます。チームメンバーは次の方たちから成ります。

- ライオンズクラブ国際本部との連絡係を務める委員長
- 副委員長
- 委員会委員長
- 政府との連絡係
- 非政府機関 (NGO) との連絡係
- 地域社会の連絡係
- マスコミとの連絡係
- 緊急事態対応専門家やボランティアのチーム

**地区 / 複合地区のウェブサイト**では各チームメンバーの責任役割についての情報を提示します。ウェブサイトは緊急事態の管理に関連する重要な情報の中央所在地になります。

地区 / 複合地区のライオンズ **ALERT** 委員会のメンバーには次の人たちが含まれます。

- 緊急サービスを提供する専門家
- 緊急事態対応技術について地元の組織からトレーニングを受ける用意のあるライオンズ
- ライオンズではない、緊急事態応答者としては次の人たちが含まれています。
  - 警察官
  - 消防士
  - 救急医療サービス・プロバイダ（救急医療師）
  - ヘルス・ケアのプロ
  - 公衆衛生および社会福祉の職員
  - 援助機関職員
  - 高速道路、空港および港について熟知している、輸送専門家
  - マスコミ代表
  - 地元の教会や企業などからの、地域社会のリーダー
  - 学生やその他の若い人を含む、レオ・クラブ・メンバー。

緊急事態サービス・プロバイダとして共通の絆を持っている人々には、地元で **ALERT** ライオンズクラブを形成することをお勧めします。緊急事態準備は、新しいライオンズクラブ・メンバーを獲得するまたとない方法です。

## 緊急事態対応計画を立てる

---

協力して、ライオンズ **ALERT** 委員会メンバーは、それぞれの地域におけるニーズに対応した計画を打ち立てることができます。計画では、はんらん原や地震における断層線など、地元における危険要因を確認する必要があります。

ライオンズ **ALERT** 委員長は、地元の当局に連絡をとり、その地域における緊急事態計画がすでにあるかどうか確認します。存在する場合、ライオンズは満たされていないニーズを確認するために協力します。

緊急事態対応計画は、他の緊急管理組織と調整するための特定指示および緊急事態準備の練習スケジュールなどが含まれます。ライオンズの **ALERT** 委員会は、緊急事態対応計画を毎年必要に応じて、評価して修正する手順を設けます。委員会はまた、オペレーション・センターとして使える、中央集会場所を確認する必要があります。

効果的な計画は、次の質問に対応します。

- 特定の災害において、一番影響を受けやすい人はどのような人か（山火事、台風など）。
- 即時型反応を提供できる人は誰か。
- 緊急事態の調整はどこで行うか。
- 緊急事態はどのように管理するか。
- 状況はどうか。避難または自宅での監禁が必要か。
- 避難が必要な場合、人々をどこに運ぶか。
- それぞれのアクションのスケジュールは何か。

地元政府および災害救助組織（赤十字社や赤新月社など）が、これらの質問のいくつかに答える手助けをしてくれます。さらに、消防署などの多くの緊急組織は、心肺機能蘇生 (CPR) などの緊急手順のトレーニングを提供しています。



緊急管理には4つの段階があります。対応計画はできる限り、緊急時における4段階すべてに対応します。それぞれの状況の深刻度により、ライオンズの対応が決まります。

緩和(予防)は予防策を講じて災害の影響を軽減するという、費用効率のよい方法です。

備えは緊急時に備えて、アクション・プランを作成することを含みます。緊急時オペレーション・センターおよび実践された緊急対応計画は、備えの段階における二つの要素です。

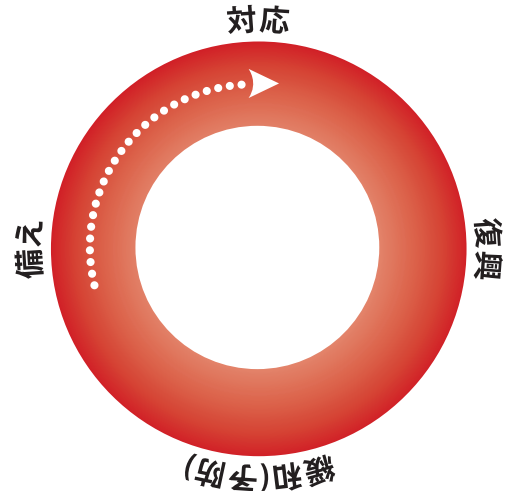
対応には緊急時計画に定義されている、緊急サービスの稼動が含まれます。

復興では、影響を受けた地域を元の状態に戻すことを目指します。これには破壊された家屋、インフラおよび再雇用などが含まれます。

ライオンズクラブ**国際損害補償保険**ポリシーは、ライオンズのプロジェクトに従事する、ライオンズおよびボランディアをカバーします。ライオンズの保険には、医療過失は含まれません。

地区または複合地区は、自分のライオンズ**ALERT 緊急補助基金**を確立し、緊急レスポンス計画の準備および実施に対して資金提供をします。ライオンズ**ALERT** 委員会は、災害救助を援助している政府やその他の組織から、現物支給の寄付あるいは財政援助を要求することを求められています。

ライオンズ・レスポンス計画を作成したら、地元の責任者や初期レスポンス組織にライオンズが危機に際して援助を提供する意志があることを伝えます。





## 公衆衛生の危機に事前に対応

---

インフルエンザは、20世紀に3回世界的に流行しました。

- インフルエンザが最初に大流行したのは1918年。世界各地で5千万人以上が死亡しました。
- 二回目に大流行したのは1957年。アジア型インフルエンザ(H2N2型)が原因で、世界中で100万から200万の人々が死亡しました。
- 1968年には全世界で70万の人々が香港風邪(H3N2型)に感染し、死亡しました。

1997年に香港で最初の鳥インフルエンザ(H5N1型)感染事例が報告され、その後2003年に中国で最初の重症急性呼吸器症候群(SARS)の感染事例が報告されました。全世界で8,098人がSARSに感染し、774人が死亡しました。

インフルエンザのウィルスは今もなお存在するものの、インフルエンザによる死亡件数は著しく減少しています。これは公衆衛生の改善、健康管理、インフルエンザの蔓延予防に関する教育によるものです。地域社会のリーダーとしてライオンズは、インフルエンザの予防方法について地域の人々を指導することができます。

## 将来予想される世界的流行

将来インフルエンザが大流行した場合、人口の30%を超える人々が感染する可能性があると言われています。季節的なインフルエンザと違い、人間は汎発性インフルエンザのウィルスに対しては生まれながらにしての免疫を備えていません。保健当局がインフルエンザのタイプを特定し、ワクチンを開発するまでに数週間もしくは数ヶ月かかる可能性もあります。

その間、用心することが必要となります。

2007年7月にライオンズクラブ国際協会は、汎発性インフルエンザ対策に関する情報の発信において米国保健社会福祉省に協力することに同意しました。同様に協会は米国外の諸国の保健機関と連携し、救命につながる情報を提供することが可能です。

## 地域社会向けのライオンズALERT緊急事態対応計画

多数の地域社会が、インフルエンザが大流行した場合の対応策を既に設けています。そういった地域に住んでいる場合には、ボランティアとなってこの健康上の緊急事態に市民を備えるために地元の自治体や保健医療当局に協力してください。

対応策を設けていない地域社会ではライオンズ**ALERT**緊急事態対応計画の基本形式を参考に、ライオンズ**ALERT**汎発性インフルエンザ対応策を策定してください。

## 基本的なガイドライン

インフルエンザの病原菌は握手やくしゃみといった人との接触のほか、だれもが触ったり、使ったりするドアの取っ手やテーブル等の共用物を通して感染します。病気が流行している間、病原菌の蔓延を最小限に抑えるには、他の人との接触をできる限り控え、下記の基本的なガイドラインに従うことです。

- くしゃみや咳をする時には、ティッシュペーパーを使用する。ティッシュペーパーが手元がない場合には シャツの袖を当ててくしゃみをする。手で覆ってくしゃみをした場合、病原菌を広げる可能性が増す。
- 石鹸、アルコールをベースとしたウェットティッシュ、ジェル状の殺菌用ローションを使って手を洗う。
- 目、鼻、口に触れないようにする。
- インフルエンザに感染したら、外出しない。外出しなければ、菌が広がるのを最小限にとどめられる。

ライオンズクラブは以上の重要な情報を、下記を通じて伝達することが可能です。

- 地元における記者会見。地元の医師やヘルスケア専門家を招き、病原菌の蔓延を抑える方法について説明してもらう。
- 地元のマスコミに報道記事を投稿。
- 地元の学校、託児所、高齢者センター、コミュニティセンター、寺院や教会などでの公開セミナー。
- 地元でのヘルスフェア。
- 情報を載せたチラシを地元の学校、託児所、高齢者センター、コミュニティセンター、教会、企業、住民に配布。
- ライオンズクラブの例会場、官庁舎、学校、医療施設、空港、電車の駅、バス停を含む公共の場にチラシを掲示。
- クラブ会員の勤務先への情報提供。

このほかにライオンズクラブは地域の恵まれない人々のために保存食品、衛生用品、処方箋を必要としない常備薬 (後記の「個人向けのライオンズALERT対応策」の提案事項を参照) を収集するとよいでしょう。

## **クラブ、地区、複合地区のライオンズALERT緊急事態対応計画**

ライオンは、クラブ、地区、複合地区のニュースレターやウェブサイトを利用して、インフルエンザに備えるための情報を伝達することができます。Eメールも情報伝達手段の一つです。

インフルエンザが世界的に流行している間、クラブは電話やインターネットを利用した例会開催が必要になる可能性もあります。地区や複合地区の会議、さらにはフォーラムについても、同様の方法で開催する必要に迫られる場合もあるでしょう。

## 個人向けのライオンズALERT緊急事態対応計画

一人ひとりが日頃から衛生状態に注意することによりインフルエンザの病原菌の蔓延を抑えることができます。インフルエンザが流行している間、下記を心がける必要もあるでしょう。

- 日頃から正しい食生活をし、運動をすることにより健康を保つ。
- 石鹸、アルコールをベースとしたウェットティッシュ、あるいはジェル状の殺菌用ローションを使って手を洗う。電話やコンピューターのキーボードなど、手で触ることの多い表面をきれいに拭く。
- くしゃみや咳をする時には、ティッシュペーパーを使う。ティッシュペーパーがない場合にはシャツの袖を当ててくしゃみをする。手を当ててくしゃみをした場合には、病原菌をさらに広げることになりえる。
- 他の人との接触を避ける。出勤しないで自宅で仕事をするなど、普段とは別の方法で日課をこなす。
- 家族の誰かがインフルエンザに感染した場合には、その世話をする人を決める。
- 万一自分が病気になるか、もしくは病人の世話で買い物に出かけられない場合に備えて、2週間分の飲料水、保存食品、処方薬を備蓄する。
- 会社や学校、公共交通機関が臨時閉鎖となったり、店で販売される品物が限られる可能性も考慮する。
- 血液型やアレルギーを含む、家族全員の最新の健康状態を知っておく。
- 緊急時の連絡先を書き留めておく。

以下は汎発性インフルエンザに関する情報を載せたウェブサイト(英語):

- 世界保健機関 ([www.who.org](http://www.who.org))
- 米国保健社会福祉省 ([www.pandemicflu.gov](http://www.pandemicflu.gov))





## 危機の際は効果的にコミュニケーションを行う

緊急事態や災害の際は、効果的なコミュニケーションを行うことが必要不可欠です。コミュニケーションを行うには、作動しているコンピュータ、携帯電話、固定電話、無線機などが必要です。電気機器を使って、ライオンズは地元の責任者、マスコミそして他のライオンズに、緊急事態について通報することができます。次のようなプロトコルを作って、コミュニケーションを行う人の責任を確認します。つまり、誰がどのような情報を誰に通報する、情報の優先順位および情報を流布する方法を決めます。

地元のマスコミがライオンズ **ALERT** プログラムの重要な役割を果たします。報道を通して社会の人たちは、事態に関与している、活発なライオンズクラブのメンバーの努力について知らされます。これにより、ライオンズが「奉仕する」というモットーを実現していることがわかります。

さらに、ライオンズは、大きいライオンズの旗を掲げて、緊急事態の援助に参加していることを知らせることができます。これにより現場にいる人たちに、ライオンズが人道的サービスを提供していることがわかります。また、ライオンズは、特注のライオンズ **ALERT** ベスト、シャツまたは帽子などをつけて、存在を知らしめることもできます。このようなユニフォームは、地域のレスポンス・チームの一員として、ライオンズを誇らしくさせます。

緊急事態において、ライオンズがいかに貢献しているかを知ってもらうことにより、地元住民は将来におけるライオンズのサービス・ミッションに参加することを考えるかもしれません。

## ライオンズ国際本部とのコミュニケーション

---

地区ガバナーまたは複合地区協議会議長は、それぞれのライオンズ **ALERT** 委員長の名前と連絡先を、就任時にライオンズクラブ国際本部に報告し、質問や援助の申し出が適切に伝えられるようにします。ライオンズ **ALERT** 委員長の公式のリストは、ライオンズのウェブサイトに掲示されます。

新しいライオンズ人類奉仕プログラムデータベースは、他のメンバーに危機の際の人道的ニーズについて知らせるためのツールとなりえます。データベースはライオンズのウェブサイトである ([www.lionsclubs.org](http://www.lionsclubs.org)) にあります。ライオンズ **ALERT** 委員長は、ウェブサイトに緊急ニーズの要請を掲示することができます。それにより、他の地区のライオンズは、緊急援助の要請を読み、応えることができます。

短期および長期援助には次のものがあります。

- 負傷した人に対して、即座に援助を提供する、救急隊員および機器
- 負傷した人に対する、医療サービス
- 危機においてメガネをなくしてしまった人に対して、メガネを提供
- 労働力、機械および材料を提供して、ごみを取り除き、井戸を掘り、道路、建物、学校や家の基本的建設を始める
- 清潔な飲み水、食料品を含む、基礎必需品およびその他の必需品
- 住むところがなくなった人に宿を提供
- UNICEF の学校用キットおよびその他の基本的な学校必需品に対する資金およびその配布
- 心理学的サポートを提供する専門家。
- ベッド、電気製品や家具など、家庭用品の代替

## 「行動規範」を守る

---

1994年、国際赤十字および赤新月社は救援スタッフに対して、行動規範を採用しました。この規範の主な公約は次の通りです。

- 人道的援助を行うことが一番重要であり、優先される。
- 救援は人種、宗教、国籍に関わらず与えられ、差別があってはならない。救援は必要性に応じてのみ、優先順位が決められる。
- 救援を利用して、特定の政治や宗教的意見を助長してはならない。
- 救援は政府外交政策のツールとして利用してはならない。
- 救援機関は文化と習慣を尊重すべきである。
- 救援組織は、地元の能力に基いて、災害レスポンスを構築する必要がある。
- 救援の管理に際して、受益者をプログラムに関与する方法を見つける必要がある。
- 救援は基本的なニーズに対処するだけでなく、将来における脆弱さの低減も目指すべきである。
- 救援組織は、援助を必要としている人たちだけでなく、リソースを提供する人たちに対しても、責任がある。
- 救援組織は災害被害者を希望もない物体としてではなく、尊厳のある人間として扱い、認識するべきである。

ライオンズは、これらの規範に従うことを次のウェブサイトで登録するよう奨励されています。<http://www.ifrc.org/publicat/conduct/index.asp>.

## LCIF は助けの手をのべることができる

---

災害に遭った地域のライオンズ地区ガバナーは、水、食料品、衣類、毛布および医療品のために、最高 US\$10,000 のLCIF 緊急基金を申し込むことができます。詳細については LCIF にご連絡ください。あるいは下記のライオンズ・ウェブサイトにご登録ください。[www.lionsclubs.org](http://www.lionsclubs.org) ライオンズについて、LCIF、次に LCIF 緊急援助金をクリックしてください。



## 詳細

---

ライオンズ **ALERT** プログラムの詳細については、次にご連絡ください。

LIONS CLUBS INTERNATIONAL  
300 W 22ND ST  
OAK BROOK IL 60523-8842  
USA

電話番号：(630) 571-5466、内線315

ファックス：(630) 571-8890

E メール：[alert@lionsclubs.org](mailto:alert@lionsclubs.org)

ライオンズ・ウェブサイト：<http://www.lionsclubs.org>

## リソース

---

**アジア災害準備センター (Asian Disaster Preparedness Center (ADPC))** はアジア太平洋において、より安全で維持可能な社会を目指す、地域リソース・センターです。センターはトレーニング、テクニカル・サービスおよび特別プロジェクトを提供します。 <http://www.adpc.net>

**災害ニュース・ネットワーク (Disaster News Network (DNN))** はアメリカをベースとして災害レスポンスに関する情報を提供するサービスで、援助を提供する際にアドバイスを提供します。 <http://www.disasterresponse.net/>

**災害準備および緊急レスポンス協会 (The Disaster Preparedness and Emergency Response Association)** は国際的組織で、世界中の地域に対して、災害に対する準備、レスポンスおよび回復の援助を提供します。専門家、ボランティアそして緊急準備および管理のあらゆる段階に活発的に関与している組織に対するリンクです。  
<http://www.disasters.org/dera/weblink.htm>

**緊急計画組織 (Emergency Planning Society)** はアメリカベースの団体で、緊急計画、危機および災害管理に関与している専門家のためのものです。  
<http://www.the-eps.org/index.php>

**緊急準備イニシアチブ (Emergency Preparedness Initiative (EPI))** は、緊急事態マネージャが身体障害者の懸念に対処し、計画、レスポンスおよび回復といったあらゆる緊急事態の準備において、身体障害者の方への対応が含まれるようにします。  
<http://www.nod.org/index.cfm?fuseaction=Page.ViewPage&PageID=11&>

**連邦緊急事態管理組織 (Federal Emergency Management Agency (FEMA))** はアメリカの組織で、あらゆる災害に対して国が備えがあるよう先導し、災害発生時には、連邦政府のレスポンスおよび回復への努力を効果的に管理します。 <http://www.fema.gov/>

**グローバル・アウトブレイク警告およびレスポンス・ネットワーク (Global Outbreak Alert & Response Network (GOARN))** は既存の組織やネットワークの技術協力体制で、人材およびテクニカル・リソースをまとめ、国際的にも重要なできごとに対して、素早く認識、確認および対応をします。  
<http://www.who.int/csr/outbreaknetwork/en/>

**危機におけるヘルス・アクション (Health Action in Crises)** は世界保健機関 (WHO) のプログラムで、緊急事態への準備およびレスポンスをします。その目標は危機に晒されている国において、避けることができる人命の損失、病気および障害の重荷を軽減することにあります。ウェブ・サイトは緊急プログラム計画に対して、技術的ガイドラインおよび該当する衛生情報が含まれています。 <http://www.who.int/disasters/>

**国際緊急マネージャ協会 (The International Association of Emergency Managers (IAEM))** は非営利団体の教育組織で、緊急時において人命を助け、財産を守ることを推奨しています。 <http://www.iaem.com/>

**国際緊急管理および協力プログラム (The International Emergency Management and Cooperation Program (IEMC))** は外国の政府や国際組織を助け、緊急時における政策および準備のためのインフラの開発、緊急時におけるオペレーション施設、緊急時手順、実行プログラムおよび技術およびトレーニングに対する補助を行います。  
[http://www.nnsa.doe.gov/na-20/inter\\_emer.shtml](http://www.nnsa.doe.gov/na-20/inter_emer.shtml)

**国際赤十字および赤新月社連盟 (International Federation of the Red Cross and Red Crescent Societies)** は危機における世界保健機構 (WHO) の主要パートナーです。連盟は次のことに焦点を当てています。災害および緊急事態の管理、報酬を伴わない自主的献血、HIV AIDS 予防、そして緊急事態における精神衛生、水、衛生などの共通関心事項。 <http://www.ifrc.org>

**救済ウェブ (Relief Web)** は国連の人道問題調整部のプロジェクトです。世界中の人道的イニシアチブ情報の宝庫です。このサイトには、イベントと国に分類された、検索可能な緊急事態のデータベースがあります。  
<http://www.reliefweb.int>

## 推薦に関する免責条項

特定の商品、手順あるいはサービスに関して、このハンドブックに書かれている参照事項は、その商品、手順またはサービスまたはその製造者あるいはプロバイダに対するライオンズクラブ国際協会による推薦を意味するものではありません。更に、参照文献に書かれている見解や意見は、必ずしもライオンズクラブ国際協会の見解あるいは意見を反映するものではありません。

ライオンズクラブ国際協会は明示あるいは黙示を問わず、いかなる事項をも保証しません。これには特定の目的に対する商品性あるいは適合性をも含まれています。また、このウェブサイトまたは提供されている他のウェブサイトへのリンクにある情報の精度、完成度および便利性に関して、いかなる法的責任をも負いません。



出版元

LIONS CLUBS INTERNATIONAL  
300 W 22ND ST  
OAK BROOK IL 60523-8842  
USA

電話：630-571-5466  
ウェブサイト：[www.lionsclubs.org](http://www.lionsclubs.org)